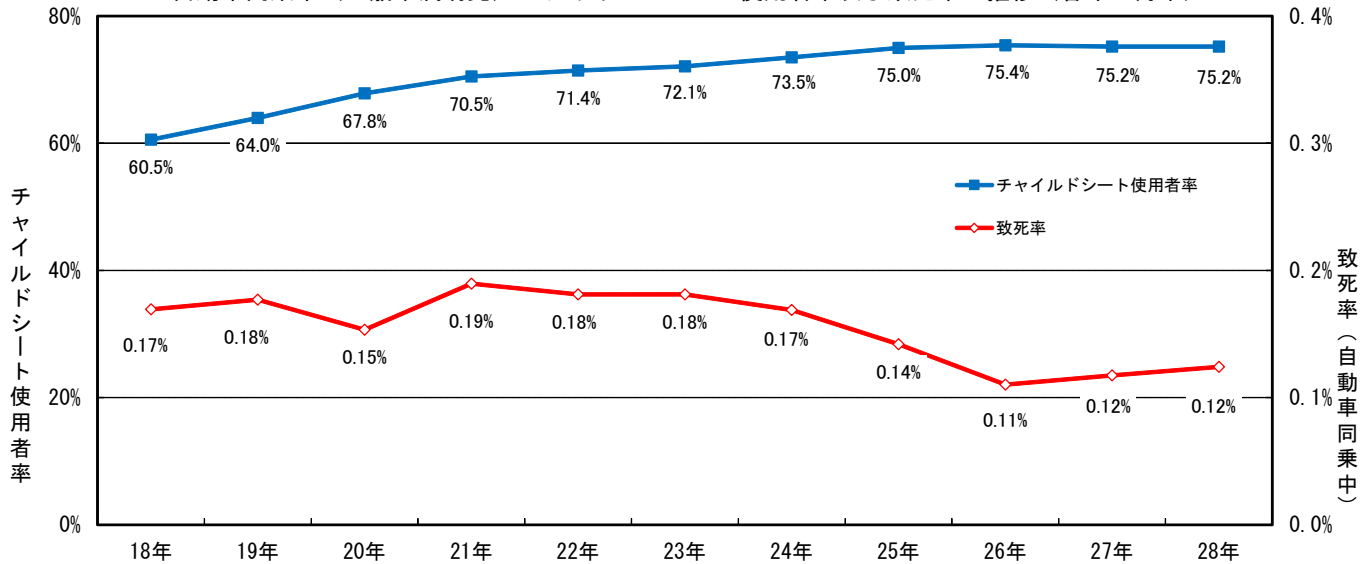


チャイルドシート関連統計

チャイルドシート使用者率（6歳未満幼児の自動車同乗中死傷者に占める使用の死傷者の割合）は、75.2%であり、近年、横ばい傾向にある。

6歳未満幼児の自動車同乗中の致死率は、10年前の0.17%から0.12%に低下している。この致死率をチャイルドシート使用有無別にみると、使用者の0.04%に対して不使用者は約11倍の0.42%であり、チャイルドシートの使用が交通事故の被害軽減に寄与していることが認められる。

自動車同乗中（6歳未満幼児）のチャイルドシート使用者率及び致死率の推移（各年12月末）



○ 自動車同乗中（6歳未満幼児）のチャイルドシート使用有無別死傷者数の推移（各年12月末）

有無別	年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	増減数	増減率	指数
		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者			
チャイルドシート使用	死者	3	9	4	7	5	6	5	6	3	1	2	1	100.0	67
	負傷者	7,504	7,583	7,077	7,058	7,093	6,763	6,959	6,856	6,153	5,758	5,448	-310	-5.4	73
チャイルドシート不使用	死者	18	12	12	11	13	10	11	7	6	8	7	-1	-12.5	39
	負傷者	4,589	4,061	3,214	2,810	2,695	2,495	2,382	2,137	1,861	1,783	1,658	-125	-7.0	36
使用不明	死者	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	-	-
	負傷者	286	201	132	135	133	115	116	147	143	111	134	23	20.7	47
合計	死者	21	21	16	19	18	17	16	13	9	9	9	0	0.0	43
	負傷者	12,379	11,845	10,423	10,003	9,921	9,373	9,457	9,140	8,157	7,652	7,240	-412	-5.4	58
チャイルドシート使用者率		60.5	64.0	67.8	70.5	71.4	72.1	73.5	75.0	75.4	75.2	75.2	0.0P	-	124
致死率（自動車同乗中）		0.17	0.18	0.15	0.19	0.18	0.18	0.17	0.14	0.11	0.12	0.12	0.0P	-	73

注1 増減数（率）は、平成27年と比較した値である。

2 指数は、平成18年を100とした場合の平成28年の値である。

3 チャイルドシート使用者率＝チャイルドシート使用死傷者数（自動車同乗中）÷死傷者数（自動車同乗中）×100

4 致死率＝死者数（自動車同乗中）÷死傷者数（自動車同乗中）×100

○ 自動車同乗中（6歳未満幼児）のチャイルドシート使用有無別致死率（平成28年中）

有無別	年	死傷者数		致死率
		死者	負傷者	
チャイルドシート使用	適正使用	0	5,132	0.00
	不適正使用	2	316	0.63
	小計	2	5,448	0.04
チャイルドシート不使用		7	1,658	0.42
使用不明		0	134	0.00
合計		9	7,240	0.12

注1 「適正使用」とは、チャイルドシートが車両に適正に固定され、かつ、幼児等がチャイルドシートを適正に使用している場合をいう。

2 「不適正使用」とは、事故によりチャイルドシートがシートベルトから完全に分離している場合、幼児等がチャイルドシートから飛び出した場合等をいう。

3 致死率＝死者数（自動車同乗中）÷死傷者数（自動車同乗中）×100